

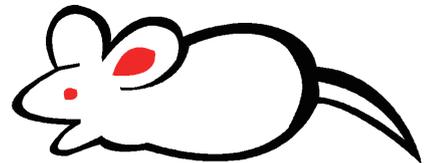
# 液化室だより

東大物性研究所 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/>

## 新年を迎えて

ヘリウム液化機の修理が昨年10月に終わり、大きなトラブルもなく2008年を迎えることが出来ました。液化設備は今年の4月で10年目を迎えますが、昨年の故障の影響もあり液化機への負担が大きい為、トラブルや必要なメンテナンスが増えてくると思われます。また、液体ヘリウムの供給量は増え続け2007年度は24万L/年に迫る勢いです。

今年もできるだけ利用者の要望に応じていくべく、液化室員一同努力していきますので、皆様も液体ヘリウムの有効利用、回収率向上など今後ともご協力をよろしくお願い致します。



## メンテナンスと供給停止

供給停止期間：1月23日(水)～1月31日(木)

1月23日から1月31日にかけて、液化用圧縮機に付いている2次から4次のオイルセパレータを交換します。これは、ガスを圧縮する際に潤滑剤として使用しているオイルを除去する為の装置であり、オイル除去能力が低下すると最悪の場合、液化機内にオイルが進入しタービンの破損等故障の原因になります。

オイルセパレータの交換は、設置後約7,000時間で一度実施しましたが、1月7日時点での運転時間は17,000時間を超えており、前回交換から10,000時間以上経っている為、そろそろ交換時期であると言えます。

メンテナンス中は液化機の運転が出来ない為、原則として液体ヘリウムの供給を停止します。どうしても液体ヘリウムが必要な方は、購入することも出来ますので液化室までお問い合わせ下さい。ただ、回収ガスの貯蔵には限界があるので、メンテナンス期間中は極力実験を控えていただく様併せてお願いいたします。

## ボンベの盗難にご注意を！

容器の盗難が平成13年から急増し、平成18年は過去最高を記録したそうです。また、東大内でも盗難が頻発しているようです。ボンベが盗まれたという話はまだ無いようですが・・・

「夜間や休日など人が居なくなる場合には、実験室等を施錠する。」「不要なボンベは速やかに返却する。」「長期間使用する予定がないボンベは貯蔵庫に預ける。」などの対策を取り、日頃から注意してください。

